

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
B302	日本語表現技術 / 国語表現法	3年	講義	2	松田勇一
授業概要 大学生活に必要な日本語の表現技術を、ドリル(練習問題)を通じて身に付ける。ドリル回答後、解答確認を行い、正しい日本語を理解する。また、小テスト(漢字・四字熟語・ことわざ等)を行い、国語の基礎を固める。					
到達目標(学習の成果) <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な日本語の文章表現技術を身に付ける。(DP1) ○ 各種の書式を理解して、文章が作成できる。(DP1) ○ 書き言葉、話し言葉、敬語の使い分けができる。(DP1) 					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	アカデミックワード	日常語との区別・仮名遣い・送り仮名			
2	句読点	句読点の打ち方			
3	漢字の使い分け	同音異義語の漢字の使い分けについて			
4	表記	見やすい表記のしかたについて			
5	敬語	尊敬語・謙譲語について			
6	手紙とEメール	手紙とEメールの書式について			
7	分かりやすい文	あいまい文について			
8	一文の長さともとまり	ねじれ文について			
9	接続表現	接続詞の使い方について			
10	事実と意見	意見文の書き方について			
11	データの解釈	考察の仕方について			
12	レポートの書式	レポートの書式について			
13	レポートの構成	レポートの構成について			
14	文献	文献の探し方について			
15	参考文献	参考文献の書き方について			

準備学修(授業外の自己学修)

随時、小テストを行うので、試験範囲をしっかりと学んでおくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

小テスト 40%+授業での発言 20%+期末試験 40%

観点	S	A	B	C
基本的な日本語の文章表現技術	完全にできている	ほぼ完全にできている	十分にできている	一定程度できている
各種の文章作成	完全にできている	ほぼ完全にできている	十分にできている	一定程度できている
書き言葉、話し言葉、敬語の使い分け	完全にできている	ほぼ完全にできている	十分にできている	一定程度できている

教科書

講義において指示する。

参考書等

講義において指示する。

履修上の注意・学修支援

出席が3分の2以上に満たない者については、成績認定を行わない。

欠席の場合、やむを得ない理由以外は、小テストは0点となる。